平成 28 年度岡山桃太郎空港の利用実績について

平成 28(2016)年度の岡山空港の利用者数は、香港線や台北線の新規就航により、国際線の利用者が大幅に増加したことから、８年ぶりに 140 万人を超え、総数で 1,439,700 人《対前年度比 103.7%》となった。

（以下、《　　》内は対前年度比。）

１　国内定期路線

利用者数は堅調に推移し、前年度並みの 1,224,069 人《99.1%》となった。

（１）東京線

平成 27(2015)年 10 月末に、全日空及び日本航空が減便（合計 12 往復/日→10 往復/日）したものの、利用者数は堅調に推移し、前年度並みの 1,066,159 人《99.5%》となった。

航空会社別では、全日空が 650,600 人《98.0%》、日本航空が 415,559 人《101.9%》であり、特に日本航空は平成 14 年の就航以来最多を記録した。

（２）札幌線

夏期の利用は好調な反面、冬期の利用が伸び悩んだことから、利用者数は前年度より減少したものの、４年連続で７万人を超え、70,609 人《95.9%》となった。

（３）沖縄線

利用者数は前年度より減少したものの、搭乗率は８割を超え、好調に推移しており、87,301 人《97.5%》となった。

２　国際定期路線

香港線及び台北線の新規就航により、利用者が大幅に増加し、211,211 人《146.9%》となった。

（１）ソウル線

昨年 10 月末から毎日運航が復活し、利用者数が持ち直したことから、前年度並みの 85,001 人《99.7%》となった。

（２）上海線

中国の旺盛な訪日需要を背景に利用者数が伸びたことから、前年度より増加し、53,909 人《105.0%》となった。

（３）香港線

本格的なインバウンド路線として、昨年３月に就航し、７月に毎日運航から週２便に減便となったが、その後は高い搭乗率で推移し、利用者数は 40,349 人となった。

（４）台北線

台北線では中四国初のＬＣＣによるインバウンド路線として、昨年７月に就航して以来、利用者数は好調に推移し、搭乗率 80.0%、利用者数 31,952 人となった。

３　チャーター便

国内外に 48 便が運航され、利用者数は 4,420 人《47.4%》であった。

国際チャーター便は、グアム、韓国などへ 13 便が運航され、利用者数は 2,083 人となった。

国内チャーター便は、北海道、久米島・宮古島などへ 35 便が運航され、利用者数は 2,337 人となった。

平成２８年度岡山空港利用実績集計表

１　国内定期路線　　（単位:人，%）

路　　線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
東 京 線	1,066,159	▲ 5,893	99.5	71.5
札 幌 線	70,609	▲ 2,984	95.9	69.1
沖 縄 線	87,301	▲ 2,253	97.5	82.9
計	1,224,069	▲ 11,130	99.1	72.0

２　国際定期路線

路　　線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
ソウル線	85,001	▲ 290	99.7	70.7
上 海 線	53,909	+2,580	105.0	64.0
香 港 線	40,349	+39,543	5,006.1	65.7
台 北 線	31,952	+25,591	502.3	80.0
計	211,211	+67,424	146.9	69.1

※ソウル線は、H28.7.31～減便（６往復／週→５往復／週）
　　H28.10.30～増便（５往復／週→７往復／週）
※香港線は、H28.7.16～減便（７往復／週→２往復／週）
※台北線は、H28.7.14～運航開始（３往復／週）

３　チャーター便

路　　線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
チャーター便	4,420	▲ 4,907	47.4	86.7

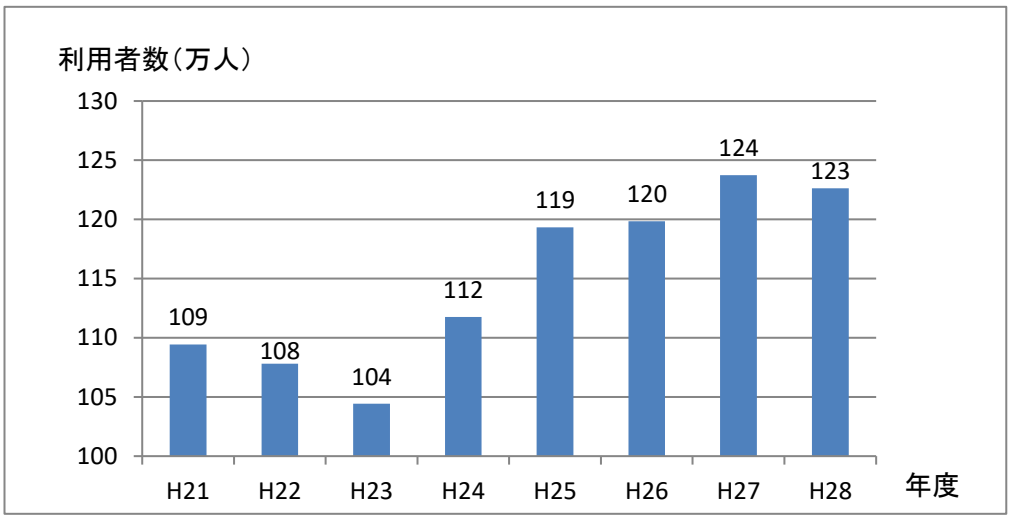
※便数は、国際チャーターが13便、国内チャーターが35便

４　総　　計

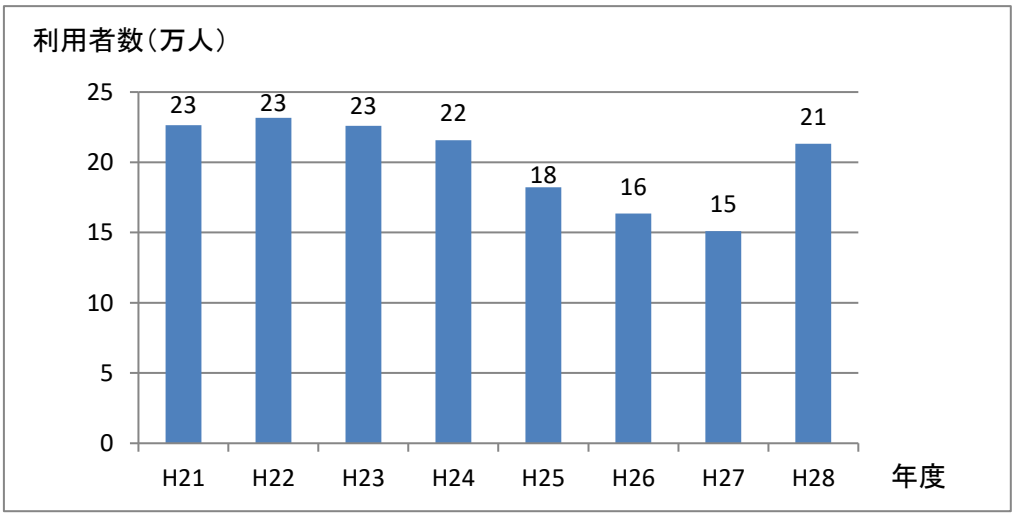
	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
総　　計	1,439,700	+51,387	103.7	71.6

岡山空港利用者数の推移

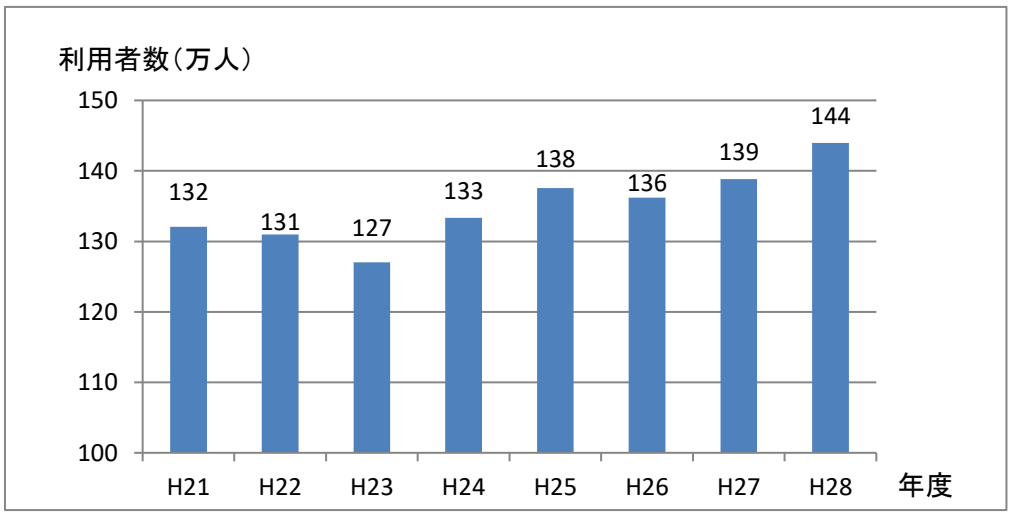
1 国内線



2 国際線



3 国内線＋国際線



※利用者数には、チャーター便を含む。